

環境省における地球環境研究の推進例

環境省地球環境局総務課研究調査室長 辻原 浩

平成25年6月18日

■環境研究総合推進費

- ・環境政策立案に貢献するため大規模プロジェクトを実施
- ・気候変動予測、影響評価、適応、緩和、生物多様性保全に関し競争的資金を提供

①アジア低炭素社会シナリオ研究(S-6)

中長期的政策オプションの立案・予測・評価手法の開発と普及の研究

②温暖化適応研究(S-8)

日本・アジアの温暖化影響予測と、適応策による悪影響の回避軽減の研究

③アジアでの生物多様性研究(S-9)

種・遺伝子多様性・森林・陸水・生態系の観測により損失を評価・予測

④地球規模の気候変動リスク管理戦略研究(S-10)

科学的・社会的に合理性の高い気候変動リスク戦略の研究

など

地球環境に関する研究ネットワーク

■アジア太平洋地球変動研究ネットワーク



- ・日米の共同イニシアチブに基づき、1996年設立。
- ・地球変動研究に対する競争的な研究資金を提供する政府間ネットワーク。
- ・アジア太平洋地域での地球変動研究の各分野で中心的な位置を占める。

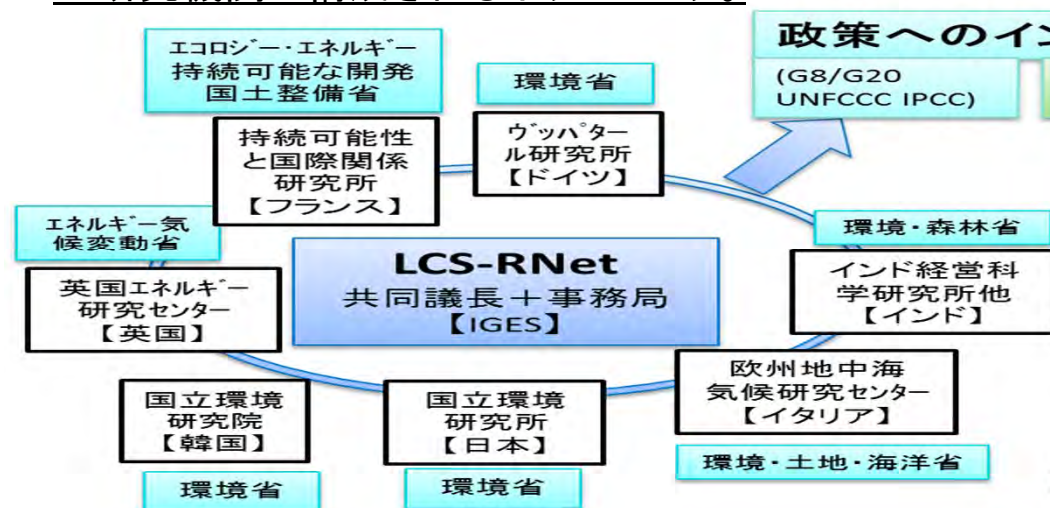
■アジア太平洋適応ネットワーク（APAN）



- ・アジア・太平洋地域の気候変動の適応に係る知見の共有を通じて、途上国の適応対応を支援するUNEP主導のネットワーク。
- ・世界適応ネットワーク(GAN)のアジア太平洋地域の活動を担う。

■低炭素社会国際研究ネットワーク(LCS-RNet): G8中心

- ・2008年のG8環境大臣会合で設立提案、2009年G8環境大臣会合で設立了承。
- ・低炭素社会の実現に向けた研究を促進するための研究機関で構成されるネットワーク。



■低炭素アジア研究ネットワーク(LoCARNet): アジア

- ・LCS-RNetの知見を生かし、アジア地域における低炭素社会を推進の研究ネットワーク。2012年設立。
- ・アジア諸国の研究者や政策決定者と連携して低炭素社会の構築に向けた取組を推進。

